



学校だより

令和3年10月29日(金)

11月号 No.9

横浜市立大豆戸小学校

TEL543-7911

上級生から下級生へ「繋がる」

副校長 萩原 英里

前夜までの雨が嘘のように晴れ渡った秋晴れのもと、令和3年度の運動会が無事開催されました。運動会のテーマ「E(笑顔)I(いっぱい)M(大豆戸小)」を合言葉に、それぞれのめあてをもって取り組むことができました。

分散登校明けから3週間という短い練習期間ではありましたが、各学年工夫して練習に取り組んでいました。中でも低・中・高ブロックに分かれての団体演技、団体競技の練習では、上級生が下級生に手本を見せたり、アドバイスしたりしている姿が多くみられました。今年の上級生の姿を、下級生は来年の自分の姿として、繋げて行ってほしいです。



低学年の団体演技では、自分の立ち位置への移動や時間内のウエーブに苦戦していましたが、当日は、見事にどのクラスも移動もウエーブも成功していました。中学年は、太鼓の音が日に日にそろっていく様子が職員室から感じ取れました。当日は、心を合わせて太鼓に思いを込めて演技することができていました。そして、高学年は、法被を着るだけで演技に迫力とやる気が出て、当日は、みんなの真剣なまなざしに感動しました。短い練習期間の中で、力を十分に出し切ることができた子どもたちの集中力に感心した1日でした。

1年生にとっては初めての運動会。「ドキドキしたけど、楽しかった」「玉入れを頑張ったよ」「家に帰って、おじいちゃんやおばあちゃんとビデオを見たよ」という声が聞こえてきました。また、最後の運動会になる6年生は、「ソーラン節の時、前にたくさんカメラやビデオがあって緊張した」「今までで一番上手に演技ができた」「6年間、一度も勝利ができなかった」という声がありました。実は、ここ数年白組が勝利をしていて、赤組の勝利は4年ぶりでした。来年は、ぜひ、ソーラン節で大きな掛け声を出したり、大きな声で応援をしたり、人数制限なく参観できる運動会が行えることを願っています。



今年度は、入れ替わりなしではありましたが、保護者の参観人数を2名として行うことができました。無事行うことができたのも、保護者の皆様のご理解、ご協力、また、PTAでお手伝いいただいた皆様のおかげです。大変にありがとうございました。

